

令和8年度 年間授業計画				科目の目標 【知識及び理解】 文学理解に必要な国語の知識や語彙を身につける。 【思考力、判断力、表現力】 作品や多様な価値観に深く共感したり、表現から豊かに想像する力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 自らを向上させ、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度を養う。	教科書	新文学国語（三省堂）
教科	国語	科目名	文学国語		副教材	新訂 国語図説 六訂版（啓隆社） 体系古典文法（数研出版） 大学入試国語頻出問題1200 四訂版（啓隆社） 高校生必修語彙ノート 三訂版（桐原書店）
単位数	2単位	区分	必履修			
年次	3年次	形態	クラス単位			

	1学期	2学期	3学期
授業内容	「月火水木金土日」川上弘美 （非現実的な物語から人間の根源に迫る） 「源氏物語-北山の垣間見-」訳 角田光代 （源氏物語の歴史的な位置や背景を理解する 現代語訳文を通して、作品を評価的に味わう） 「ことばの不思議」 （短歌を味わい、また自分の思いを短歌で表現する）	「鞆」安部公房 （小説に込められた寓意を読み取り、主題を理解する） （発展探究）映画「夜のピクニック」 （戯曲を通じて、筆者や登場人物の思いを汲み取る 生成AIを用いて、戯曲から受け取るイメージを広げる） 「雨月物語-浅茅が宿」訳 石川淳 （日本文化古来の価値観から人間に対する理解を深める） 「藤野先生」魯迅 （作品の背景にある歴史や社会を考える）	「山椒魚」井伏鱒二 （近代文学に込められた人間の本性を捉える）
授業時数	24	32	14

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	言葉ひとつひとつに真摯に向き合っていく態度と、そこから書き表されていることを正しくつかんでいく能力を高めていく。	漢字の読みや語句の意味を文章内容に即して理解できる。	漢字の読みや語句の意味を正しく理解している。	漢字の読みや語句の意味を確かめる。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
思考力・判断力・表現力等	文章に書き表されていることについて考え、自分なりに意見をまとめ、それを自ら表すことのできる能力と姿勢を高める。	文章に書き表されていることの理解を踏まえて、そこにつながるまで思考していくことができる。	文章にどういったことが書き表されているのかを正しく理解している。	文章に書かれていることに関心を持たず、その内容を考えようとしていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
主体的に学習に取り組む態度	文章に意欲的に向き合い、そこに窺われる課題を、自ら考えていこうという態度を育てる。	文章についての課題を自ら見つけ、その意味合いを主体的に考え、自らの問題につなげられる。	文章に主体的に向き合い、その内容を意欲的に理解している。	文章に対して真摯に向き合うことができない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 言語表現に沿って他者の考えを理解する力を育成する 【思考力、判断力、表現力等】 的確で多様な自己表現が可能となるように語彙を獲得し、豊かな言語活動を育成する 【学びに向かう力、人間性等】 多様な論点や価値観に触れ、新たな視点から自己の考えを深める	教科書	新編論理国語（東京書籍）
教科	国語	科目名	論理国語			副教材	新訂 国語図説 六訂版（啓隆社） 大学入試国語頻出問題1200 四訂版（啓隆社） 高校生必修語彙ノート 三訂版（桐原書店）
単位数	2単位	区分	必履修				
年次	3年次	形態	クラス単位				

授業内容	1 学期	2 学期	3 学期
	「最初のペンギン」 茂木健一郎 （論理展開に注意して読み解く） 「鏡としてのアンドロイド」 石黒浩 （科学の見地から内容を捉え、人間理解に落とし込む） 「言葉は『ものの名前』ではない」 内田樹 （言語論を理解し、言葉のはたらきについて理解を深める 言葉が記号として扱われている例を生成AIを用いて視覚化する）	「知識における作者性と構造的性」 吉見俊哉 （対比に注目して筆者の主張を読み解く） 「もう一つの知性」 姜尚中 （具体例や事実描写を基に筆者の主張を読み解く） 「ホンモノのおカネの作り方」 岩井克人 （貨幣経済論を理解し、具体と抽象を読み分ける）	「言葉の扉④ 的確に表現するために」 （読み手が誤解しないような的確な文章を書きあげる）
授業時数	24	32	14

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。	文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分理解できている。	文章の効果的な組み立て方や接続の仕方についておおむね理解できている。	文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解できていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
思考力・判断力・表現力等	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を高め、自分の思いや考えを深める。	文章の内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら、要旨を十分に把握することができている。	文章の内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら、要旨をおおむね把握することができている。	文章の内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら、要旨を把握することができていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	多面的、多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ねて自分の主張を明確にすることが十分できている。	多面的、多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ねて自分の主張を明確にすることがおおむねできている。	多面的、多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ねて自分の主張を明確にすることができていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の目標	【知識及び技能】 物事の選択・判断の手掛かりとなる知識や理論をもとに、現代の諸課題を捉え、考察するとともに、情報を適切に収集・整理する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実をもとに知識や理論を活用して多面的・多角的に考察するとともに、社会参画や合意形成を視野に入れながら構想したことを議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	教科書	最新政治・経済(実教出版)
教科	公民	科目名	政治経済			副教材	政治経済資料2026(とうほう)
単位数	2単位	区分	必履修				
年次	3年次	形態	クラス単位				

授業内容	1 学期		2 学期		3 学期	
		第2編第1章①企業の役割 ②国民所得 ③経済成長と国民の福祉 ④金融の役割 ⑤日本銀行の役割 ⑥財政の役割と租税 ⑦日本の財政の課題 第2章 ①戦後復興から高度経済成長へ ②安定成長からバブル経済へ ③日本経済の課題	経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、市場の失敗、財政や金融などの知識と理論を実際の社会生活の事象とも関連させながら理解させる。 日本経済の変遷、中小企業、農業問題、公害、労使関係と労働問題、社会保障制度と福祉のあり方の知識と理論を実際の社会生活の事象とも関連させながら理解させる。	第2章 ④中小企業と農業 ⑤消費者問題 ⑥公害防止と環境保全 ⑦労働問題と労働者の権利 ⑧こんにちの労働問題 ⑨社会保障の役割 第3章 ①貿易と国際収支 ②外国為替市場のしくみ ③第二次世界大戦後の国際経済 ④国際経済の動向 ⑤発展途上国の諸問題 ⑥経済協力と日本の役割	貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、実際の国際社会の事象とも関連させながら理解する。	第3編 ①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③人種・民族問題
授業時数	26		38		6	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。また、諸資料を様々なメディアを通して、収集し、必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代社会にかかわる諸課題に関して、学んだ内容を十分に理解し、知識をもとに課題解決する力が十分に付いた。	現代社会にかかわる諸課題に関して、学んだ内容を理解し、知識をもとに課題解決する力が付いた。	現代社会にかかわる諸課題に関して、学んだ内容の理解と課題解決する力が身に付いていない。	定期考査(単元テスト含む) レポート課題 提出物
思考力・判断力・表現力等	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見出し、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する力を養う。	現代社会にかかわる諸課題に関して、身に付けた知識をもとに、課題解決に向けて構想し、考察した結果を説明・議論する力が十分に付いた。	現代社会にかかわる諸課題に関して、身に付けた知識をもとに、課題解決に向けて構想し、考察した結果を説明・議論する力が身に付いた。	現代社会にかかわる諸課題に関して、身に付けた知識をもとに、課題解決に向けて構想し、考察した結果を説明・議論する力が身に付いていない。	定期考査(単元テスト含む) レポート課題 提出物
主体的に学習に取り組む態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。そして、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	現代社会にかかわる諸事象と諸課題を学び、活用することにより、日本国民としての自覚を十分に深め、人としての在り方生き方を深めようとすることの大切を十分に自覚している。	現代社会にかかわる諸事象と諸課題を学ぶことにより、人としての生き方を深めようとすることの大切を自覚している。	現代社会にかかわる諸事象と現代的な諸課題の学びが不十分で、日本国民としての自覚と、人としての在り方生き方を深めようとすることの大切が自覚ができていない。	定期考査(単元テスト含む) レポート課題 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するため、運動に親しむとともに、公正、協力、責任、参画などの意欲を育て、健康・安全を確保し、粘り強く取り組む態度を養う。	教科書	現代高等保健体育
教科	保健体育	科目名	体育3			副教材	なし
単位数	3単位	区分	必修				
年次	3年次	形態	クラス単位				

授業内容	1 学期		2 学期		3 学期	
		A 体づくり運動 ア 体ほぐしの運動 イ 実生活に生かす運動の計画	ストレッチ	A 体づくり運動 ア 体ほぐしの運動 イ 実生活に生かす運動の計画	ストレッチ	A 体づくり運動 ア 体ほぐしの運動 イ 実生活に生かす運動の計画
	C 陸上競技 ア 短距離走 イ 中距離走	50m・1500m	E 球技 ア ゴール型 イ ネット型	サッカー・アルティメット テニス	E 球技 ア ゴール型 イ ネット型	サッカー・アルティメット テニス
	E 球技 ア ゴール型 イ ネット型 ウ ベースボール型	バスケットボール 卓球 ソフトボール			H 体育理論 (3) 豊かなスポーツライフの 設計の仕方	
授業時数	35		45		25	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの技能を十分に身に付けている。	運動の多様性や体力の必要性についてほぼ理解しており、それらの技能をほぼ身に付けている。	運動の多様性や体力の必要性について理解が不十分で、それらの技能の習得が不十分である。	実技テスト 授業への取り組み 学習カード
思考力、判断力、表現力等	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	授業や課題を通して学んだことを思考し、正しく判断し、適切に表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断し、表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断する力が不十分で、表現することに努力を要する。	実技テスト 授業への取り組み 学習カード
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	主体的・意欲的に体育に取り組む態度と生涯にわたって継続して運動に親しむ態度が十分にある。	主体的・意欲的に体育に取り組む態度と生涯にわたって継続して運動に親しむ態度がある。	主体的・意欲的に体育に取り組む態度と生涯にわたって継続して運動に親しむ態度が不十分である。	授業への取り組み 学習カード 出席状況

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりするために必要な語彙や文法事項の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現・伝え合ったりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化を理解し、聞き手や読み手に配慮しながら、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	教科書	Power On English Communication III
教科	英語科	科目名	英語コミュニケーションIII			副教材	Power On WORKBOOK III
単位数	4単位	区分	必履修				
年次	3年次	形態	クラス単位				

授業内容	1学期	2学期	3学期
		Lesson 1 Library of the Future 現在分詞の分詞構文、関係副詞where Lesson 2 History Maker Otani Shohei 現在完了進行形、be動詞+to不定詞 Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals 比較表現、S+V [使役] +O+C [原形不定詞] Lesson 4 Nature Photographer in Alaska 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞what、分詞構文	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think S+V+O+C、過去完了進行形、受け身 Lesson 6 Where Does Halloween Come from? 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源や歴史についての論説文 Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World? 賛成する、反対する、主張する、理由を述べる、意見を述べる、質問する、討論する Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad 説明する、紹介する、意見を述べる、主張する、発表する
授業時数	50	50	40

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、詳細に聞き取ったり、読みとる技能を身につけている。また自分の考えを理由や根拠とともに、詳しく話したり書いたりする技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法をおおむね理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、おおむね聞き取ったり、読みとる技能を身につけている。また自分の考えを理由や根拠とともに、おおむね話したり書いたりする技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法の理解が不足している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、聞き取ったり、読みとる技能が欠けている。また自分の考えを理由や根拠とともに、話したり書いたりする技能が不十分である。	定期考査 英作文 ワーク、提出物
思考力、判断力、表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあっている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握している。また自分の考えを理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細をおおむね整理して把握している。また自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することに欠けている。また自分の考えを理由や根拠とともに書くことが不十分で、論理性に欠けている。	定期考査 英作文 ワーク、提出物
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握しようとしている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、書き手の意図、概要や要点、詳細をおおむね整理して把握しようとしている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、書き手の意図、概要や要点、詳細を何とか整理して把握しようとしている。	定期考査 授業の取り組み ワーク、提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	教科書	MY WAY Logic and Expression II
教科	英語科	科目名	論理表現II			副教材
単位数	2単位	区分	必履修			
年次	3年次	形態	クラス単位			
【知識及び理解】 日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりするために必要な語彙や文法事項の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現・伝え合ったりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化を理解し、聞き手や読み手に配慮しながら、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。						

	1学期	2学期	3学期
授業内容	Lesson 1 I Love My Country! 未来を表す表現の特徴やさまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて複数の文を言ったり書いたりする。 Lesson 2 The New Wave of Sports 最新のものについて、情報を詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。 Lesson 3 The Future of Technology 文動脈の特徴やさまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものごとについて複数の文を言ったり書いたりする。 Lesson 4 Rediscover Kabuki 日本の文化について、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI? 無人レジについて、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。 Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife ものの数や大きさなどについて、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。 Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? 火星での生活について、情報や自分の考えを詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。 Lesson 8 Language and Society 「もし〇〇がなかったら」というタイトルで、情報や自分の考えを詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。	Lesson 9 Send Our Love to the World 世界の貧困問題について、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。 Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps 医師の中村哲氏について、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝えるための多様な語句や文を身に付ける。
授業時数	25	25	20

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	論理表現の学習活動において、英語の文法を正しく使用し、なるべくたくさんの語句を用いて話を続けたり会話を続けようとしているか。	話の流れがよく、興味深い内容をしている。理由や例示などの情報が、適切に述べられている。文法の使い方が適切である。	話の流れが悪くなく、おおむね適切な内容を話している。理由や例示などの情報が、おおむね適切に述べられている。文法の使い方がおおむね適切であるが、少し誤りがある。	表現の使い方が不適切である。理由や例示などの情報が、適切に述べられていない。文法の使い方が不適切である。	定期考査 エッセイ ワーク、提出物
思考力、判断力、表現力等	論理表現の学習活動において、英語の表現を考え、適切な英語を選び、英文を作成し、話したり書いたり読んだりしているか。	誤りのない適切な表現が使われている。聞き取りやすく正しい発音で読んでいる。滑らかで、理解しやすい読み方である。	おおむね誤りのない適切な表現が使われている。おおむね聞き取りやすく正しい発音で読んでいる。(誤りなどが少しある) おおむね滞ることなく、理解可能な読み方である。	表現の使い方が不適切である。発音の誤りなどが多く聞き取りにくい。滞ることが多く、理解するのが困難な読み方である。	定期考査 エッセイ ワーク、提出物
主体的に学習に取り組む態度	論理表現の授業活動における活動において、相手に自分の事を伝えようとしている。また、学習活動に取り組んでいるかを判断する提出物を提出できるか。	聞き手を意識して、内容を明確に伝えようとしている。レッスン毎のエッセイに、指定の語数を使用し作成しようとしている。授業の内容をワークを利用して学習している。	聞き手を意識して、内容をおおむね明確に伝えようとしている。レッスン毎のエッセイに、指定の語数をおおむね使用し作成しようとしている。授業の内容をワークを利用しておおむね学習している。	聞き手を意識して、内容をおおむね明確に伝えようとしているが伝わらない。レッスン毎のエッセイに、指定の語数に達せず作成している。授業の内容をワークを利用して学習しているが抜けている箇所がある。	定期考査 授業の取り組み ワーク、提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	教科書	なし
教科	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間		副教材	なし
単位数	1単位	区分	必履修			
年次	3年次	形態	少人数			
				【知識及び理解】 地域の特性や現状を理解し、ESDIについて深めた知識をもとに、地域の課題を自分事として捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の課題に対して仮説・実証・考察・改善のサイクルを通して、探究活動を深めることができる。また探究活動の過程や成果を適切に捉え、他者に発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながらその解決に向けて考察し、その過程や成果を自己の進路実現に生かそうとする力を養う。		

授業 内容	1 学期 地域探究 ～2年次からの地域探究の成果をまとめよう！～	2 学期 進路探究 ～自己の興味関心・進路に関するオリジナル探究をしよう！～	3 学期 進路探究 ～3年間の探究活動をまとめる～
	・「総探初回ガイダンス、2年次の探究活動を振り返る」	・「進路探究ガイダンス、自己の興味関心を振り返る」	<ul style="list-style-type: none"> ・「3年間の探究活動を振り返って」 <ul style="list-style-type: none"> ■3年間で身に付いた力 ■その力が身に付いた理由 ■卒業後にどのように生かすかを整理し、他者に発表する。
	・「探究テーマ(探究課題)の確認、仮説設定、探究計画づくり」	・「探究テーマ(探究課題)の確認、仮説設定、探究計画づくり」	
	・「仮説検証、情報収集(フィールドワーク)」	・「仮説検証、情報収集(フィールドワーク)」	
	・「発表資料作成 ⇒2年生へのアドハイス」 (発表内容)①探究テーマ(探究課題) ②地域課題への着目理由 ③2年次の取組 ④3年次の新たな問い⑤仮説 ⑥調査・検証方法 ⑦結果	・10月「探究中間発表会」 ⇒再調査、再考察 ⇒最終発表資料づくり	
	7月「地域探究 まとめ発表会」	12月「探究まとめ発表会」	
授業時数	12時数	18時数	5時数

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	探究活動が自己の在り方生き方を考え、他教科で身に付けた力を実社会や実生活の中で活用する営みであることを理解し、他の場面で生かせる探究の見方・考え方が身に付いたかどうか。	探究活動の意義を十分に理解し、他教科で身に付けた知識・技能を実社会や実生活の課題解決に結び付け、探究の見方・考え方を他の場面にも生かしている。	探究活動が自己の在り方生き方を考え、他教科で身に付けた力を実社会や実生活で活用する営みであることを理解し、探究の見方・考え方を身に付けている。	探究活動の意義や、他教科で身に付けた力を実社会や実生活で活用することへの理解に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・探究計画書、振り返りシートの取組状況 ・フィールドワークへの参加状況 ・発表会での発表内容
思考力、判断力、表現力等	自ら課題を立て、フィールドワークや地域の方・探究支援員との対話や生成AIを活用して情報を集め、比較・分類等の方法で整理・分析し、発表会でまとめ・表現できるかどうか。	自ら課題を立て、フィールドワークや地域の方との対話、生成AIの活用等により情報を集め、比較・分類して整理・分析し、根拠を明確にして分かりやすく発表している。	自ら課題を立て、フィールドワークや地域の方との対話、生成AIの活用等により情報を集め、整理・分析し、発表会でまとめ・表現している。	課題を立てること、生成AI等を活用し情報を集めて整理・分析すること、発表会でまとめ・表現することに課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・探究計画書、振り返りシートの取組状況 ・フィールドワークへの参加状況 ・発表会での発表内容
主体的に学習に取り組む態度	自ら探究計画を立て、地域の方や探究グループの仲間と協働し、18歳成年年齢を踏まえた立ち居振る舞いを身に付け、よりよい地域・社会づくりに向けて行動することができるかどうか	自ら探究計画を立て、地域の方や仲間と積極的に協働し、18歳成年年齢を踏まえた立ち居振る舞いを意識しながら、よりよい地域・社会づくりに向けて主体的に行動している。	自ら探究計画を立て、地域の方や仲間と協働し、18歳成年年齢を踏まえた立ち居振る舞いを身に付け、よりよい地域・社会づくりに向けて行動している。	探究計画の作成、地域の方や仲間との協働、またはよりよい地域・社会づくりに向けて行動する姿勢に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・探究計画書、振り返りシートの取組状況 ・フィールドワークへの参加状況 ・発表会での発表内容

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 言語表現に沿って他者の考えを理解する力を育成する 【思考力、判断力、表現力等】 的確で多様な自己表現が可能となるように語彙を獲得し、豊かな言語活動を育成する 【学びに向かう力、人間性等】 多様な論点や価値観に触れ、新たな視点から自己の考えを深める	教科書	精選 古典探究(第一学習社)
教科	国語	科目名	古典探究			副教材	古典文法演習ドリル(旺文社) マスター古文Ⅰ(啓隆社)
単位数	4単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業 内容	1 学期	2 学期	3 学期
	古典文法 動詞～助動詞 (古典作品での使われ方に注目し、内容の解釈を深める) 十訓抄「祭主三位輔親の侍、鶯を召しとどむる事」 (どのような教訓を伝えようとしたのか、編者の糸を考える) 枕草子「宮に初めて参りたるところ」 (作者と登場人物との関係性を読み解く)	古典文法 敬語表現・助詞 (古典の言葉を現代の言葉と比較し、その変容について考える) 源氏物語「夕顔の死」・「葵の上の出産」・「明石の姫君の入内」 (『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさをとらえる。) 故事「推敲」 (漢文が日本に与えた影響について理解を深める。)	鶏鳴狗盗 (作中に書かれた孟嘗君の考えや人物像を読み取る)
授業時数	48	64	28

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識 及び技能	社会生活に必要な国語の知識を身に付けるとともに、古典という伝統的な言語文化に対する理解を深める。	古典文法の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分理解できている。	古典文法の効果的な組み立て方や接続の仕方についておおむね理解できている。	古典文法の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解できていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
思考力・ 判断力・ 表現力等	論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、古典を通したものの見方、考え方を広げ深める。	古典作品の内容や構成、展開などを的確に捉え、要旨を十分に把握することができている。	古典作品の内容や構成、展開などを的確に捉え、要旨をおおむね把握することができている。	古典作品の内容や構成、展開などを的確に捉え、要旨を把握することができていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
主体的に学習 に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	多面的、多角的な視点から文章を読み、時代背景や古典常識を重ねて話の展開を理解することが十分できている。	多面的、多角的な視点から文章を読み、時代背景や古典常識を重ねて話の展開を理解することがおおむねできている。	多面的、多角的な視点から文章を読み、時代背景や古典常識を重ねて話の展開を理解することができていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の目標	【知識及び技能】 近現代の日本と世界の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 近現代史の変化に関わる事象の意義や特色を、概念を活用して多面的・多角的に考察し、表現する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、自国・他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	教科書	「明解 歴史総合」(帝国書院)
教科	地理歴史	科目名	歴史基礎			副教材	なし
単位数	2単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業内容	1 学期			2 学期			3 学期		
	1部 歴史の扉	1章 歴史と私たち	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	2章 第一次世界大戦とその影響	4部 グローバル化と私たち	2章 冷戦で揺れる世界と日本			
	2部 近代化と私たち	2章 江戸時代の日本と結びつく世界		3章 大衆社会の形成と社会運動		3章 多様化する世界			
		3章 欧米で生まれる国民国家		4章 揺らぐ国際秩序と日本の行方		4章 冷戦で揺れる世界と日本			
4章 産業革命による欧米とアジアの変化		5章 第二次世界大戦とその影響		5章 現代的な諸課題の形成と展望を考えよう					
6章 帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化									
テーマ 国民統合の進展は、後の人々にどのような考えや課題をもたらすか	「18世紀までのヨーロッパ(天航海時代)」 「イギリス市民革命とアメリカ独立革命」 「産業革命とその影響」「フランス革命」 「ナポレオン戦争とウィーン体制」	テーマ WWIが長期戦となり、未曾有の被害をもたらした最大の要因は何か	「バルカン問題と大戦の勃発、ロシア革命」 「ヴェルサイユ体制」「アジアの民族自決」 「大衆社会の出現と大衆の政治参加」 「WWI後の欧米諸国」「大正デモクラシー」 「世界恐慌」「ファシズムの台頭」 「宥和政策」「満州事変と日中戦争」 「WWIIの拡大」「太平洋戦争とWWIIの終結」 「太平洋戦争の終結」「戦後処理と日本の改革」 「冷戦の始まり」「東アジアと日本の独立」	テーマ 西ヨーロッパと東南アジアの地域統合の背景や成果の共通点と相違点は何か	「米ソの緊張緩和と核問題」 「日米同盟と高度経済成長」 「パレスチナ問題と中東戦争」 「ベトナム戦争と黒人問題」 「冷戦下の日本の外交と領土問題」 「冷戦の終結と地域統合」 「中東問題」				
授業時数	25時数			30時数			15時数		

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	近現代史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能が身についたかどうか。	近現代の歴史的事象について、基本的な用語・出来事・人物・制度などを正確に理解し、それらを相互に関連付けながら説明することができる。また、資料・年表・図版などを的確に読み取り、歴史的事象の特色や意味を根拠に基づいて説明できる。	近現代の歴史的事象について、基本的な用語・出来事・人物・制度などをおおむね理解している。また、資料・年表・図版などから必要な情報を読み取り、歴史的事象の概要を説明することができる。	近現代の歴史的事象に関する基本的な用語や出来事の理解が十分ではなく、資料・年表・図版などから必要な情報を読み取ることに課題がある。	・定期考査 年3回(各学期1回) ・単元テスト 年5回(1学期・2学期:2回、3学期:1回)
思考力、判断力、表現力等	近現代史の変化に関わる事象の意義や特色を、時期や推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目し、概念を活用して多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考えたことを効果的に説明し、議論したりする力が身についたかどうか。	近現代の歴史的事象について、複数の資料や視点をもとに多面的・多角的に考察し、歴史的背景や因果関係を、現代社会とのつながりを踏まえて、自分の考えを根拠に基づいて分かりやすく表現できる。	近現代の歴史的事象について、資料や授業内容をもとに考察し、歴史的背景や因果関係について自分の考えを表現することができる。	歴史的事象について自分の考えを表現しようとしているが、根拠が不十分であったり、歴史的背景や因果関係を踏まえた考察に課題がある。	・定期考査 年3回(各学期1回) ・単元テスト 年5回(1学期・2学期:2回、3学期:1回)
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深まったかどうか。	毎回の授業の学習課題や単元を貫く問いに対して主体的に取り組む、ペア・グループ活動や振り返りを通して、自分の考えを深めようとしている。また、授業で得た知識や他者の意見を踏まえ、歴史的事象を自分ごととして捉え、学びを次に生かそうとしている。	毎回の授業の学習課題や単元を貫く問いに対して取り組み、ペア・グループ活動や振り返りを通して、自分の考えをまとめようとしている。	毎回の授業の学習課題や単元を貫く問いへの取り組みが十分ではなく、ペア・グループ活動や振り返りを通して自分の考えを深めようとする姿勢に課題がある。	・授業プリントの取組状況 ・振り返りシート(自己分析シート)の取組状況

令和8年度 年間授業計画				科目の目標	【知識及び技能】 世界史の大きな流れを、地理的条件や日本史と関連付けて理解し、史料から情報を適切に読み取り、まとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象の意味や意義を、相互の関連・現代とのつながりに着目して多面的・多角的に考察し、考えを説明・議論する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史に関わる課題を現代と比較しながら主体的に探究	教科書	高校世界史探究（山川出版）
教科	地理歴史	科目名	世界史演習			副教材	高校世界史探究ノート（山川出版） グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社）
単位数	3単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業内容	1 学期			2 学期			3 学期				
	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編			第Ⅲ部 諸地域の統合・変容			第Ⅳ部 地球世界の課題				
	第6章 イスラーム世界の伝播と西アジアの動向			第12章 産業革命と環大西洋革命			第18章 冷戦と第三世界の台頭				
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開			第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成			第19章 冷戦の終結と今日の世界				
	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国			第14章 アジア諸地域の動揺							
	第9章 大交易・大交流の時代			第15章 帝国主義とアジアの民族運動							
	第10章 アジアの諸帝国の繁栄			第16章 第一次世界大戦と社会の変容							
第11章 近世ヨーロッパ世界の動向			第17章 第二次世界大戦と新しい国家秩序の形成								
テーマ	8世以降のイスラーム教が各地に広まる時代から、宋から清に至る中国王朝の変遷、中世から近世に至るヨーロッパ情勢などを取り扱い、現代とのつながりに着目し、考え議論する力を養う、			テーマ	産業革命お環大西洋革命から、第二次世界大戦後の新しい国際秩序の形成に至る、諸地域の統合・変遷などを取り扱い、現代とのつながりに着目し、考え議論する力を養う、			テーマ	歴史総合で扱っていない近現代史を中心に学び、地球世界の課題を探究する		
授業時数	35時数			45時数			25時数				

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、世界の歴史に関する様々な情報を諸資料の読解や生成AIの活用により、効果的に調べ、まとめる技能が身についたかどうか。	歴史総合で学んだ歴史の学び方や歴史の見方・考え方を活用して、世界の歴史の大きな流れを現代的な諸課題と関連付けて深く理解し、諸資料や生成AIを効果的に活用して情報をまとめることができる。	世界の歴史の大きな流れを理解し、諸資料や生成AIを活用して必要な情報を調べ、まとめることができる。	世界の歴史の基本的な内容の理解や、諸資料・生成AIを活用した情報の読み取り・整理に課題がある。	・定期考査 年3回（各学期1回） ・単元テスト
思考力、判断力、表現力等	事象の意味や意義、特色を、時期や年代、比較、相互の関連や現代とのつながりに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身についたかどうか	歴史総合で学んだ歴史の学び方や歴史の見方・考え方を活用して、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、現代的な諸課題の解決に結びつけて説明・議論することができる。	歴史的事象について、比較や関連、現代とのつながりに着目して考察し、自分の考えを説明することができる。	歴史的事象について、比較や関連、現代とのつながりに着目して考察し、自分の考えを表現することに課題がある。	・定期考査 年3回（各学期1回） ・単元テスト
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などが深まったかどうか。	歴史総合で学んだ歴史の学び方や歴史の見方・考え方を活用して、世界の歴史に関わる課題を主体的に探究し、現代的な諸課題の解決に結びつけようとしている。	世界の歴史に関わる課題に関心をもち、よりよい社会の実現を視野に入れて、学習活動に主体的に取り組もうとしている。	世界の歴史に関わる課題への関心や、見直しをもって主体的に学習に取り組む態度に課題がある。	・授業プリント、高校世界史探究ノートの取組状況 ・振り返りシートの取組状況

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 日本の歴史の流れを、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解し、諸資料の読解を効果的にまとめる技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の歴史に関わる伝統や文化の特色を、時期や現代との比較を通じて多面的・多角的に考察し、説明・考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史から学び、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に探究する態度を養う。	教科書	高校世界史探究（山川出版）
教科	地理歴史	科目名	日本史演習			副教材	高校日本史探究ノート（山川出版） 詳説日本史（浜島書店）
単位数	3単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業 内容	1 学期		2 学期		3 学期	
	第Ⅱ部 中世		第Ⅲ部 近世		第Ⅳ部 近代・現代	
	第5章 院政と武士の進出 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長		第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開と国際関係 第14章 近代の産業と生活		第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 現代の世界と日本	
	第Ⅲ部 近世					
	第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開					
	テーマ	幕府の変化とともに政治の様が大きく変化したことを理解する。原文史料の読解を行うことで、読解力を身に付け、受験対策を行う。	テーマ	武家政権から新政府の成立までの過程を理解する。諸外国との関わりを理解し、鎖国体制の開始から開国までの流れを理解し説明できる。	テーマ	憲法の制定と変化により政治の形態が大きく変化したことを理解する。ここまで学んだことを踏まえて現代社会の諸問題について考察し、記述する。
授業時数	35時数		45時数		25時数	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	日本の歴史における諸事象について十分に理解するとともに、諸資料から適切かつ効果的に情報を読み取る技能が十分に身に付いている。	日本の歴史における諸事象について理解するとともに、諸資料から適切かつ効果的に情報を読み取る技能が身に付いている。	日本の歴史における諸事象についての理解が不十分で、諸資料から適切かつ効果的に情報を読み取る技能が身に付いていない。	定期考査（各学期1回） 単元テスト
思考力、判断力、表現力等	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を養う。	日本の歴史における諸事象について、学んだ内容から自身の考えを構築するとともに、それを適切に表現することが十分にできる。	日本の歴史における諸事象について、学んだ内容から自身の考えを構築するとともに、それを適切に表現することができる。	日本の歴史における諸事象について、学んだ内容から自身の考えを構築し表現することができない。	定期考査（各学期1回） 単元テスト 提出物
主体的に学習に取り組む態度	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解により日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	日本の歴史における諸事象について、学んだ内容から自身の考えを構築するとともに、それを適切に表現することが十分にできる。	日本の歴史における諸事象を学んだうえで、日本国民としての自覚と、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚が深まった。	日本の歴史における諸事象を学んだうえで、日本国民としての自覚と、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚が深まっていない。	提出物 授業ノート

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び技能】 物事の選択・判断の手掛かりとなる知識や理論をもとに、現代の諸課題を捉え、考察するとともに、情報を適切に収集・整理する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実をもとに知識や理論を活用して多面的・多角的に考察するとともに、社会参画や合意形成を視野に入れながら構想したことを議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	教科書	最新政治・経済(実教出版)
教科	公民	科目名	政治経済演習			副教材	政治経済資料2026(とうほう)
単位数	2単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業 内容	1 学期		2 学期		3 学期	
	第2部第1編第1章 ①国際社会と国際法 ②国際社会の変化 ③国際連合と国際協力 ④第二次世界大戦前の国際政治 ⑤第二次世界大戦後の国際政治 ⑥冷戦終結からこんにちまでの国際政治 ⑦人種・民族問題 ⑧軍拡競争から軍縮へ ⑨日本の外交と国際社会での役割	経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、市場の失敗、財政や金融などの知識と理論を実際の社会生活の事象とも関連させながら理解させる。	第2部第3編 ①難民問題 ②外国人労働者との共生 ③自動運転技術 ④地球環境問題 ⑤資源エネルギー問題 ⑥公害問題 ⑦国際経済格差是正と国際協力 ⑧持続可能な平和のあり方 ⑨共通テスト対策 ⑩私大対策	難民問題、外国人労働者、自動運転技術、地球環境に関する諸課題について、実際の国際社会の事象とも関連させながら理解する。	⑩私大対策	
授業時数	20		30		20	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。また、諸資料を様々なメディアを通して、収集し、必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代社会にかかわる諸課題に関して、学んだ内容を十分に理解し、知識をもとに課題解決する力が十分に付いた。	現代社会にかかわる諸課題に関して、学んだ内容を理解し、知識をもとに課題解決する力が付いた。	現代社会にかかわる諸課題に関して、学んだ内容の理解と課題解決する力が身に付いていない。	定期考査(単元テスト含む) レポート課題 提出物
思考力・判断力・表現力等	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見出し、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する力を養う。	現代社会にかかわる諸課題に関して、身に付けた知識をもとに、課題解決に向けて構想し、考察した結果を説明・議論する力が十分に付いた。	現代社会にかかわる諸課題に関して、身に付けた知識をもとに、課題解決に向けて構想し、考察した結果を説明・議論する力が身に付いた。	現代社会にかかわる諸課題に関して、身に付けた知識をもとに、課題解決に向けて構想し、考察した結果を説明・議論する力が身に付いていない。	定期考査(単元テスト含む) レポート課題 提出物
主体的に学習に取り組む態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。そして、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	現代社会にかかわる諸事象と諸課題を学び、活用することにより、日本国民としての自覚を十分に深め、人としての在り方生き方を深めようとするこの大切を十分に自覚している。	現代社会にかかわる諸事象と諸課題を学ぶことにより、人としての生き方を深めようとするこの大切を自覚している。	現代社会にかかわる諸事象と現代的な諸課題の学びが不十分で、日本国民としての自覚と、人としての在り方生き方を深めようとするこの大切が自覚ができていない。	定期考査(単元テスト含む) レポート課題 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び技能】 現代社会の課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れ、構想することで議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	教科書	公共（東京法令出版）
教科	公民	科目名	公共基礎			副教材	フォーラム公共(とうほう)
単位数	2単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業内容	1 学期		2 学期		3 学期	
	第1編第1章①社会の中のわたしたち ②日本の文化と社会 ③青年期とは ④自己形成の課題 ⑤ライフキャリアの形成 ⑥社会の多様性 第2章 ①幸福とは ②自由とは ③正義とは ④公正とは		第3章①人間の尊厳と平等 ②民主政治と国民主権 ③消極的自由と公共の福祉 ④積極的自由と義務 ⑤法の支配と人権保障 ⑥平和主義 第2編第1章①法の機能と限界 ②国会の運営と権限 ③内閣と行政の民主化 ④世界の政治体制		⑤裁判所と人権保障 ⑥私たちと裁判 ⑦地方自治のしくみ ⑧選挙の仕組みと課題 ⑨政党政治 ⑩国民と政治参加 第2章①経済活動と私たちの生活 ②市場の仕組み ③市場の失敗	
授業時数	26		30		14	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解する。諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。	公共にかかわる諸課題に関して、学んだ内容を十分に理解し、知識をもとに課題解決する力が十分に付いた。	公共にかかわる諸事象に関して、学んだ内容を理解し、知識をもとに課題解決する力が付いた。	公共にかかわる諸課題に関して、学んだ内容の理解と課題解決する力が身につけていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
思考力、判断力、表現力	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	公共にかかわる諸課題に関して、身に付けた知識をもとに、課題解決に向けて構想し、考察した結果を説明・議論する力が十分に付いた。	公共にかかわる諸課題に関して、身に付けた知識をもとに、課題解決に向けて構想し、考察した結果を説明・議論する力が身に付いた。	公共にかかわる諸課題に関して、身に付けた知識をもとに、課題解決に向けて構想し、考察した結果を説明・議論する力が身に付いていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
主体的に学習に取り組む態度	多面的・多角的な考察や深い理解を通して遊養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。また、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	公共にかかわる諸事象と現代的な諸課題を学び、活用することにより、日本国民としての自覚を十分に深め、人としての在り方生き方を深めようとするものの大切を十分に自覚している。	公共にかかわる諸事象と現代的な諸課題を学ぶことにより、人としての生き方を深めようとするものの大切を自覚している。	公共にかかわる諸事象と現代的な諸課題の学びが不十分で、日本国民としての自覚と、人としての在り方生き方を深めようとするものの大切が自覚できていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び技能】 事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりするための技能を身に付けることが重要である。関数の値の変化を的確につかむ技能を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 関数の連続性と微分可能性、関数のグラフの形状とその導関数や第二次導関数の関係について考察することができるようにする。微分法と積分法の関係を基に図形の面積や立体の体積、曲線の長さを求める方法を考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用する態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	教科書	高等学校 数学Ⅲ(数研出版)
教科	数学	科目名	数学Ⅲ			副教材	なし
単位数	4単位	区分	自由選択				
学年	3学年	形態	自由選択				

授業内容	1学期	2学期	3学期
	<p>【極限】 次のような知識及び技能を身に付けること。 数列の極限について理解し、数列 $\{r_n\}$ の極限などを基に簡単な数列の極限を求めること。</p> <p>無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めること。</p> <p>簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p> <p>次のような思考力、判断力、表現力を身に付けること。</p> <p>式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察すること。</p> <p>既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察すること。</p>	<p>【微分】 次のような知識及び技能を身に付けること。 微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求めること。 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすること。 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察すること。 関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察すること。</p>	<p>【積分法】 次のような知識及び技能を身に付けること。 不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めること。 置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求めること。 定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを求めること。 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察すること。 極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察すること。</p>
授業時数	50	70	20

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識・技能	極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	授業で得た知識を十分理解しており、数学的に表現・処理したりする技能を十分に身に付けている。	授業で得た知識をほぼ理解しており、数学的に表現・処理したりする技能をほぼ身に付けている。	授業で得た知識の理解が不十分で、数学的に表現・処理したりする技能を十分に身に付けられていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
思考・判断・表現	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発見的に考察したりする力を養う。	授業や課題を通して学んだことを思考し、正しく判断し、適切に表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断し、表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断をする力が不十分で、表現することに努力を要する。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	主体的・意欲的に数学的に活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が十分にある。	主体的・意欲的に数学的に活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度がある。	主体的・意欲的に数学的に活用しようとする態度が弱く、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の目標	【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりするための技能を身に付けることが重要である。ベクトルの計算だけでなく、平面図形や空間図形の性質などをベクトルを用いて表したり、ベクトルで表された方程式の意味を図形に即して読み取ったりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できるようにする。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察できるようにする。離散グラフや行列などの数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く「柔軟に」考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養うこととした。また、数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	教科書	高等学校 数学C(数研出版)
教科	数学	科目名	数学C			副教材	なし
単位数	2単位	区分	必履修				
学年	2学年	形態	必修選択				

授業内容	1学期	2学期	3学期
	<p>【ベクトル】 次のような知識及び技能を身に付けること。 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。 ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。</p>	<p>【平面上の曲線と複素数平面】 次のような知識及び技能を身に付けること。 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。 曲線の媒介変数表示について理解すること。 極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解すること。 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察すること。 複素数平面における図形の移動などと関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。</p>	<p>【数学的な表現の工夫】 次のような知識及び技能を身に付けること。 日常の事象や社会の事象などを、図、表、統計グラフなどを用いて工夫して表現することの意義を理解すること。 日常の事象や社会の事象などを、離散グラフや行列を用いて工夫して表現することの意義を理解すること。 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 図、表、統計グラフ、離散グラフ及び行列などを用いて、日常の事象や社会の事象などを数学的に表現し、考察すること</p>
授業時数	25	35	10

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することともに、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	授業で得た知識を十分理解しており、数学的に表現・処理したりする技能を十分に身に付けている。	授業で得た知識をほぼ理解しており、数学的に表現・処理したりする技能をほぼ身に付けている。	授業で得た知識の理解が不十分で、数学的に表現・処理したりする技能を十分に身に付けていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
思考・判断・表現	目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、数関係に着目し、考察し判断したりする力を養う。	授業や課題を通して学んだことを思考し、正しく判断し、適切に表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断し、表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断をする力が不十分で、表現することに努力を要する。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	主体的・意欲的に数学的を活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が十分にある。	主体的・意欲的に数学的を活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度がある。	主体的・意欲的に数学的を活用しようとする態度が弱く、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	教科書	なし
教科	数学	科目名	数学 I A演習			副教材
単位数	2単位	区分	自由選択			
学年	3学年	形態	自由選択			

授業内容	1 学期		2 学期		3 学期	
		①数と式 (目標) 数を実数まで拡張する意義に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。	②集合と命題 (目標) 集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。更に図などを用いて、集合に関する基本的な事項を理解する。また、集合の考え方をを用いて必要条件、十分条件、対偶などを学習し、論理的な思考力を伸ばす。さらに、事象を論理的に表現する際の基礎となる知識や技能を身につけ、いろいろな事象や数学的諸概念を多面的に見たり統合的に見たりすることができるようにする。	①2次関数 (目標) 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。更に2次関数のグラフとx軸との共有点を考え、2次関数と2次方程式の関係について理解する。さらに、2次不等式では、2次不等式の解の意味を理解し、グラフとx軸との位置関係から、2次不等式の解を求めることができるようにするとともに、グラフを活用することのよさを認識する。	②図形と計量 (目標) 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。更に正弦定理や余弦定理などの活用場面として、平面図形や簡単な空間図形の計量を扱い、いろいろな図形の辺の長さ、面積・体積などが求められるようにする。	① データの分析 (目標) 統計の基本的な考えを理解するとともに、それをを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。更に散布図及び相関係数の意味を理解し、それらを利用してデータの相関を的確にとらえ説明することができるようにする。
授業時数	24		29		17	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識・技能	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	授業で得た知識を十分理解しており、数学的に表現・処理したりする技能を十分に身に付けている。	授業で得た知識をほぼ理解しており、数学的に表現・処理したりする技能をほぼ身に付けている。	授業で得た知識の理解が不十分で、数学的に表現・処理したりする技能を十分に身に付けられていない。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
思考・判断・表現	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察して表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決	授業や課題を通して学んだことを思考し、正しく判断し、適切に表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断し、表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断をする力が不十分で、表現することに努力を要する。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	主体的・意欲的に数学的を活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が十分にある。	主体的・意欲的に数学的を活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度がある。	主体的・意欲的に数学的を活用しようとする態度が弱く、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の目標 <small>【知識及び理解】</small> いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 <small>【思考力、判断力、表現力等】</small> 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付ける。 <small>【学びに向かう力、人間性等】</small> 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	教科書	なし
教科	数学	科目名	数学ⅡB演習		副教材	リンク数Ⅰ+A+ⅡBC
単位数	2	区分	自由選択			
年次	3年次	形態	自由選択			

授業内容	1 学期	2 学期	3 学期		
	① 三角関数 <small><目標></small> ・三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 ② 対数関数と指数関数 <small><目標></small> ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。	① 微分・積分 <small><目標></small> ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 ② 数列 <small><目標></small> ・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 ・事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。	① 統計的な推測 <small><目標></small> ・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 ・標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。	授業時数 23	授業時数 31

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	授業で得た知識を十分理解しており、数学的に表現・処理したりする技能を十分に身に付けている。	授業で得た知識をある程度理解しており、数学的に表現・処理したりする技能をほぼ身に付けている。	授業で得た知識の理解が不十分で、数学的に表現・処理したりする技能を十分に身に付けられていない。	定期考査
思考力、判断力、表現力等	方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に	授業や課題を通して学んだことを思考し、正しく判断し、適切に表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断し、表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断をする力が不十分で、表現することに努力を要する。	定期考査
主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し数学を活用しようとして、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。	主体的・意欲的に数学的を活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が十分にある。	主体的・意欲的に数学的を活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度がある。	主体的・意欲的に数学的を活用しようとする態度が弱く、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が不十分である。	提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識・技能】化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】観察などを行い、科学的に探究する力を養う。 【主体的に取り組む態度】化学的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	教科書	第一学習社 高等学校 化学
教科	理科	科目名	化学演習			副教材	新課程版 セミナーノート化学
単位数	4単位	区分	自由選択			副教材	新課程版 スクエア最新図説化学
年次	3年次	形態	自由選択				

授業内容	1 学期		2 学期		3 学期	
	平衡定数を理解する。 第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第3節 化学反応の速さ ①反応速度 ②反応の速さと濃度・温度 ③触媒 第4節 化学平衡 ①可逆反応と化学平衡 ②平衡定数 ③平衡移動 第5節 電離平衡 ①電離平衡と電離定数 ②電離定数とpH ③塩の性質と反応 ④緩衝液と緩衝作用 ②溶解度積	ヘスの法則を理解する。 第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第1節 化学反応と熱・光 ①化学反応とエンタルピー変化 ②ヘスの法則	溶液の性質を理解する。 第3節 固体の構造 ①化学結合と結晶の種類 ②金属結晶の構造 ③イオン結晶の構造 ④共有結合の結晶の構造 ⑤分子結晶の構造 ⑥非晶質 第4節 溶液の性質 ①溶解と溶液 ②希薄溶液の性質 ③コロイド	無機物質の特徴を理解する。 第Ⅲ章 無機物質 第1節 周期表と元素の性質 ①元素の分類と性質 ②化合物の性質と周期表 第2節 非金属元素 第3節 典型金属元素 第4節 遷移元素	有機化合物の特徴を理解する。 第Ⅳ章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 ①特徴と分類 ②構造式の決定 第2節 脂肪族炭化水素 ①飽和炭化水素 ②不飽和炭化水素 第3節 酸素を含む 脂肪族炭化水素 ①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸とエステル ④油脂とセッケン	芳香族化合物の特徴を理解する。 第4節 芳香族化合物 ①芳香族炭化水素 ②酸素を含む 芳香族炭化水素 ③窒素を含む 芳香族炭化水素 ④芳香族化合物の分離
授業時数	50		50		40	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識・技能	化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	物質の状態や物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物の学習について、理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質の状態や物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物の学習について、理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質の状態や物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物の学習について、理解が不十分であるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能の習得が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物 など
思考・判断・表現	化学的な事象・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質の状態や物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物の学習に主体的に関わり、見通しを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の状態や物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物の学習に主体的に関わり、見通しをもって探究し、物質と化学結合における規則性や関係性が習得できている。	物質の状態や物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物の学習について、観察、実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性の習得が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物 など
主体的に学習に取り組む態度	化学的な事象・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	物質の状態や物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物の学習に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	物質の状態や物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物の学習に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	物質の状態や物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物、高分子化合物の学習に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物 など

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 生物や生物現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、観察・実験の技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、分析すると同時に、全体を総合的にとらえ、表現することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心を持ち、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につける。	教科書	高等学校 生物 Biology (啓林館)
教科	理科	科目名	生物演習			副教材	セミナー生物
単位数	4単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業 内容	1 学期		2 学期		3 学期	
		生物の構造や成り立ちについて理解をする。	生化学について理解をする。	遺伝子について理解をする。	生物の反応について理解をする。	生物の行動について理解をする。
	第1章 生物の進化 1 節 生命の起源 2 節 生物界の変遷と地球環境の変化 問題演習 第2章 有性生殖と遺伝的多様性 1 節 有性生殖 2 節 遺伝子の多様な組み合わせ 問題演習 第3章 進化の仕組み 1 節 突然変異と進化 2 節 進化の要因 問題演習 第4章 生物の系統 1 節 生物の分類と系統 2 節 3 ドメイン説 3 節 細菌ドメイン 4 節 古細菌ドメイン 5 節 真核生物ドメイン 6 節 人類の起源と進化 問題演習	第5章 生命と物質 1 節 物質と細胞 2 節 生命現象とタンパク質 問題演習 第6章 代謝 1 節 代謝とエネルギー 2 節 呼吸 3 節 光合成 問題演習 第7章 遺伝情報と物質 1 節 遺伝情報の複製 2 節 遺伝子の発現 3 節 遺伝子の発現調節 問題演習	第8章 発生と遺伝子の発現 1 節 動物の配偶子形成と受精 2 節 初期発生の過程 3 節 発生と遺伝子の発現 問題演習 第9章 バイオテクノロジー 1 節 遺伝子を扱った技術 問題演習 第10章 刺激の受容と反応 1 節 刺激の受容 2 節 神経 3 節 神経系 4 節 効果器 問題演習	第11章 動物の行動 1 節 生得的行動 2 節 学習 問題演習 第12章 植物の環境応答 1 節 植物の生殖と発生 2 節 発芽と成長 問題演習	第13章 個体群と生物群集 1 節 個体群とその変動 2 節 種内関係 3 節 種間関係 問題演習 第14章 生態系 1 節 生態系と物質生産 2 節 生態系と人間生活 問題演習	
授業時数	50		70		20	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び 技能	生物や生物現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。自然界の事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養を身につけている。生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、観察・実験の技能を習得している。	生物や生物現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を十分に身につけている。自然界の事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養を十分に身につけている。生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、観察・実験の技能を十分に習得している。	生物や生物現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。自然界の事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養を身につけている。生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、観察・実験の技能を習得している。	生物や生物現象について基本的な概念や原理・法則の理解が不十分である。自然界の事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養の育成が不十分である。生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱うことや、観察・実験の技能の習得が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
思考力、判断 力、表現力等	生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえらる。生物現象について探究する場合に、それらを個々のレベルで分析すると同時に、全体を総合的にとらえ、表現することができる。	生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえる能力が十分である。生物現象について探究する場合に、それらを個々のレベルで分析すると同時に、全体を総合的にとらえ、十分に表現することができる。	生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえる能力がある。生物現象について探究する場合に、それらを個々のレベルで分析すると同時に、全体を総合的にとらえ、表現することができる。	生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえる能力が不十分である。生物現象について探究する場合に、それらを個々のレベルで分析すると同時に、全体を総合的にとらえ、表現する力が不足している。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
主体的に学 習に取り組 む態度	生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心を持ち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心を持ち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲が十分にある。科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心を持ち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲がある。科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心が不足し、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲が低い。科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする姿勢が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。	教科書	i版生物基礎（啓林館）
教科	理科	科目名	生物基礎演習			副教材	セミナー生物基礎
単位数	2単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業 内容	1 学期		2 学期		3 学期	
	細胞や代謝の基本を身に付ける。	遺伝子の基本について身に付ける。	体内環境について身に付ける。	バイオームの基本を身に付ける。	生態系についての基本を身に付ける。	
	1章 生物の特徴 1 生物の多様性 2 生物の共通性 3 生物の進化と系統 4 細胞と個体の成り立ち 5 真核細胞の構造 6 原核細胞の構造 7 生命活動とエネルギー 8 ATPの構造 9 生体内の化学反応と酵素 10 光合成と呼吸	2章 遺伝子とその働き 1 生物と遺伝情報 2 DNAの構造と遺伝情報 3 DNA複製 4 DNAと染色体 5 細胞周期とDNAの分配 6 細胞周期とDNA量の変化 7 遺伝子発現とタンパク質 8 転写と翻訳 9 遺伝暗号表 10 遺伝子発現と維持 3章 神経系と内分泌系 1 恒常性と体液 2 血液凝固と線溶 3 恒常性に関わる神経系 4 自律神経系と脳死	3章 神経系と内分泌系 5 ホルモンによる調節 6 ホルモン分泌の調節 7 血糖濃度の変化と糖尿病 8 血糖濃度の調節の仕組み 9 体温と水分量の調整 4章 免疫 1 生体防御の概要 2 異物の侵入を阻止する仕組み 3 自然免疫の仕組み 4 獲得免疫の概要 5 細胞性免疫と体液性免疫 6 抗体とその利用 7 免疫記憶とその利用 8 免疫と病気	5章 植生と遷移 1 環境と生物 2 光の強さと植物 3 森林の階層構造と土壌 4 遷移の過程 5 遷移に伴う環境の変化 6 遷移と世界のバイオーム 7 日本のバイオーム	6章 生態系とその保全 1 生態系における生物の役割 2 種多様性と食物連鎖 3 生態系と生態ピラミッド 4 キーストーン種と絶滅 5 生態系のバランスと変動 6 人間環境と生態系 7 生物濃縮 8 外来生物 9 生物多様性と生態系の保全 10 生態系と人間生活	
授業時数	25		35		10	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び 技能	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を十分に理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が十分に身に付いている。	生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解が不十分であり、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能の習得が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
思考力、判断 力、表現力等	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が十分に習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が十分に育まれている。	探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれている。	探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法の習得が不十分である。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力の育成が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物
主体的に学 習に取り組 む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が十分に養われている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が不十分である。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が不十分である。	定期考査 授業中の小テスト 提出物

令和7年度 年間授業計画				科目の 目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。	教科書	
教科	音楽	科目名	保育音楽			副教材	大学ピアノ教本
単位数	2単位	区分	自由選択				音楽通論
年次	3年次	形態	自由選択				
担当者名		今村					

授業内容	1 学期		2 学期		3 学期	
	○歌唱 ・基本的な歌唱の姿勢、呼吸、発声法 ・合唱曲 ・童謡 ○器楽 ・基礎的なピアノの奏法 ・弾き歌い ・ミュージックベル	○創作 ・手作り楽器 ・イメージを音で表現する ○楽典・ソルフェージュ ・楽譜の構造 ・音名、音部記号 ・音価 ・リズム・聴音	○歌唱 ・基本的な歌唱の姿勢、呼吸、発声法 ・合唱曲 ・童謡 ・曲想と歌詞の内容との関わり ○楽典・ソルフェージュ ・変化記号、調号や臨時記号 ・反復記号 ・楽譜の書き方 ・リズム・聴音	○創作 ・絵本に効果音をつける ・イメージを音で表現する ○器楽 ・基礎的なピアノの奏法 ・弾き歌い ・ミュージックベル	○受験に向けた個別対策 ○1, 2学期のまとめ	
授業時数	24		28		18	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	授業で得た知識や技術について十分理解を深めており、適切に表現するために必要な技能を十分に身に付けている。	授業で得た知識や技術について理解しており、適切に表現するために必要な技能を概ね身に付けている。	授業で得た知識や技術の理解が不十分で、適切に表現したするために必要な技能を十分に身に付けられていない。	授業の様子・取り組み 授業内小テスト 実技テスト ワークシート等の提出物
思考・判断・表現	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	授業や課題を通して知覚・感受したことを思考し、正しく判断し、自分の思いや意図をもって創意工夫して表現することができる。	授業や課題を通して知覚・感受したことを思考し、判断し、自分の思いや意図をもって表現することができる。	授業や課題を通して知覚・感受したことを思考判断をする力が不十分で、表現することに努力を要する。	授業の様子・取り組み 授業内小テスト 実技テスト ワークシート等の提出物
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が十分にある。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度がある。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度が弱く、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が不十分である。	授業の様子・取り組み 授業内小テスト 実技テスト ワークシート等の提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の目標 <input checked="" type="checkbox"/> 【知識及び理解】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。 <input checked="" type="checkbox"/> 【思考力、判断力、表現力等】主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ることができるようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。 <input checked="" type="checkbox"/>	教科書	高校生の美術3 日本文教出版
教科	芸術	科目名	美術Ⅲ		副教材	なし
単位数	2単位	区分	必修修			
年次	3年次	形態	必修選択			

授業内容	1 学期		2 学期		3 学期		
		1. 絵画1（鉛筆とパステル） 鉛筆とパステルを用いて、基本的な幾何形体をデッサンする。 ・球体、円柱、立方体の形の取り方を学ぶ ・明暗を捉えることで立体感を表現する ・色価の基本を学ぶ ・鉛筆デッサンの基礎を学ぶ ・パステルの扱い方を学ぶ	2. 絵画2（抽象画とコラージュ） アクリル絵の具の多様な表現を学び、それをもとにコラージュ作品を制作する。 ・アクリル絵の具の多様な表現を学ぶ ・色彩の混色や構成を学ぶ ・感情など、抽象的な概念を色と形に置き換える ・カンディンスキー、ミロなどを鑑賞する ・主題と表現を工夫する	1. 立体造形（モビール） 絵画基礎2で制作した紙を用いて、モビール作品を制作し、好きな場所に設置して撮影する。 ・立体作品と空間の関わりについて考える ・立体表現としての創意工夫を学ぶ ・アレクサンダー・カルダーを鑑賞する ・展示場所について考える ・写真撮影の基礎を学ぶ	2. デザイン（製本） ミニブックをデザインし、中身を仕上げた上で製本をする。 ・本の構造を学ぶ ・本の内容に合わせてデザインする ・素材に対する感覚を養う ・自身の興味を深める ・互いの作品を鑑賞しあう	1. 絵画3（人物クロッキー） 順番にモデルになりながら、人物クロッキーをする。 ・短時間で形を捉える練習をする ・描かれる対象になる経験をする ・画材による表現の違いを学ぶ ・構図を創意工夫し、自分の視点を学ぶ ・線による表現を学ぶ	
授業時数	22		28		20		

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	対象や事象を捉えて、造形的な視点について理解している。 創造的な表現をするための技能を身につけている。	授業で得た知識を十分理解しており、表現したり、構想を展開させる技能を十分に身に付けている。	授業で得た知識をほぼ理解しており、表現したり、構想を展開させる技能をほぼ身に付けている。	授業で得た知識の理解が不十分で、表現したり、構想を展開させる技能を十分に身に付けられていない。	課題提出 クシート ト ワー プリン ト
思考力、判断力、表現力等	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きについて考えとともに、主題を生成し構想を練って課題に取り組んでいる。	授業や課題を通して学んだことを思考し、正しく判断し、適切に表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断し、表現することがほぼ出来ている。	授業や課題を通して学んだことを思考判断する力が不十分で、表現することに努力を要する。	課題提出 ワークシート プリント
主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。	主体的・意欲的に課題に取り組む態度があり、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度が十分にある。また、画材や道具も大事に扱い、後片付けもしっかり出来ている。	主体的・意欲的に課題に取り組む態度があり、問題解決の過程を振り返り、考察を深めようとする態度がある。画材や道具の扱い、後片付けも、ほぼ出来ている。	主体的・意欲的に課題に取り組む態度が弱く、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度が不十分である。道具や画材などの後片付けが出来ない。	課題提出 ワークシート プリント

令和8年度 年間授業計画				科目の目標	【知識及び理解】書の表現について幅広く理解するとともに、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。【思考力、判断力、表現力等】書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて表現を工夫することができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】主体的に書字活動に取り組み、学習したことを生活に生かすとともに、生涯にわたり書を愛好する心情を育む。	教科書	なし
教科	書道	科目名	ペン習字			副教材	新版 応用ペン習字 硬筆書写検定 3級合格のポイント
単位数	2単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業内容	1 学期		2 学期		3 学期	
	○楷書の基本点画 ・縦画・横画の書き方について ・折れの書き方について ・左払い・右払い・右上払いの書き方について ・そり・曲がりの書き方について ○字形の構成要素 ・概形・中心について ・画の長短・画間について ・画の方向について ・交わり方・接し方 ・部分の組み立て方（左右）について ・部分の組み立て方（上下）について ・部分の組み立て方（内外）について	○許容される書き方 ○平仮名・片仮名 ・仮名の成立と仮名の字形について ○文字の大きさと配置 ・漢字かな交じり文（縦書き・横書き） ・掲示物の書き方について ○小テスト ※ <u>手本がなくとも行書の漢字や平仮名を正しく整えて書く力を育てる。</u>	○行書 ・行書の成立と行書の特徴 ・行書の書き方について ○行書に調和する平仮名 ○平仮名の連綿 ○行書の漢字かな交じり文 ・漢字かな交じり文（縦書き・横書き） ・手紙文の書き方について ・宛名書きについて	○小テスト ※ <u>手本がなくとも行書の漢字や平仮名を正しく整えて書く力を育てる。</u>	○草書 ・草書の偏と旁について ・草書で書くと似ている文字 ・草書の語句を書く ・草書を読む（検定問題）	○小テスト
授業時数	24		28		18	

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び理解	①器具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ②書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。	授業で得た知識や技術について十分理解を深めており、適切に表現するために必要な技能を十分に身に付けている。	授業で得た知識や技術について理解しており、適切に表現するために必要な技能を概ね身に付けている。	授業で得た知識や技術の理解が不十分で、適切に表現したするために必要な技能を十分に身に付けられていない。	・提出物と取り組みの過程（ワークシート・プリント） ・小テスト
思考力、判断力、表現力等	①用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫している。 ②意図に基づいた表現を工夫している。 ③書のよさや美しさを味わって捉えることができる。	授業や課題を通して知覚・感受したことを思考し、正しく判断し、自分の思いや意図をもって創意工夫して表現することができる。	授業や課題を通して知覚・感受したことを思考し、判断し、自分の思いや意図をもって表現することができる。	授業や課題を通して知覚・感受したことを思考判断をする力が不十分で、表現することに努力を要する。	・提出物と取り組みの過程（ワークシート・プリント） ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	漢字・仮名の書に関心を持ち、主体的に漢字・仮名の書の用筆・運筆を身につけ、学習で得た知識・技能を積極的に日常生活に生かそうとしている。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が十分にある。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度がある。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度が弱く、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が不十分である。	・提出物と取り組みの過程（ワークシート・プリント）

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 日常的な話題について、初歩的な情報を聞き取ったり読み取ったりするために必要な語彙や文法事項の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現・伝え合ったりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化を理解し、聞き手や読み手に配慮しながら、自らコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	教科書	特になし
教科	英語科	科目名	初級英語			副教材	TREASUER HUNT1
単位数	2単位	区分	自由選択				パターンプラクティス英文法教室
年次	3年次	形態	自由選択				

	1 学期	2 学期	3 学期
授業内容	Lesson 1 S+V [知覚] +O+C Lesson2 S+V+O+C [形容詞] Lesson3 文型	Lesson 4 助動詞+受け身, S+V+C [分詞] Lesson 5 動名詞 Lesson 6 関係代名詞 (主格), 関係代名詞 (目的格) Lesson 7 不定詞	Lesson 8 現在完了 Lesson 9 分詞構文 (過去分詞) Lesson 10 過去完了進行形, be+to 不定詞
授業時数	25	35	10

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、詳細に聞き取ったり、読みとる技能を身につけている。また自分の考えを理由や根拠とともに、詳しく話したり書いたりする技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法をおおむね理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、おおむね聞き取ったり、読みとる技能を身につけている。また自分の考えを理由や根拠とともに、おおむね話したり書いたりする技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法の理解が不足している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題について、聞き取ったり、読みとる技能が欠けている。また自分の考えを理由や根拠とともに、話したり書いたりする技能が不十分である。	定期考査 英作文 ワーク、提出物
思考力、判断力、表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあっている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握している。また自分の考えを理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細をおおむね整理して把握している。また自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することに欠けている。また自分の考えを理由や根拠とともに書くことが不十分で、論理性に欠けている。	定期考査 英作文 ワーク、提出物
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握しようとしている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、書き手の意図、概要や要点、詳細をおおむね整理して把握しようとしている。	情報や自分の考えをまとめるために、日常生活や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、書き手の意図、概要や要点、詳細を何とか整理して把握しようとしている。	定期考査 授業の取り組み ワーク、提出物

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 日常的な話題や社会的な話題等、様々なジャンルの中堅大学入試レベルの英文を読み解くために必要な語彙や文法事項を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 総合問題において、グラフ・表の読み取り、段落ごとの内容の把握、出来事の時系列整理、段落同士の関係等を的確に理解し、設問に適切に答える力を養う。 【学びに向かう力】 多岐にわたるジャンルの英文の背景知識を蓄積しつつ、大学入試レベルの英文を、主体的、積極的に早く正確に読解しようとする態度を養う。	教科書	特になし
教科	英語科	科目名	中級英語			副教材	Treasure Hunt 3 3rd Edition(いわずな書店) 書いて身につく パターンプラクティス 英文法教室 3rd Edition(桐原書店)
単位数	2単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業 内容	1 学期	2 学期	3 学期
	Unit 1 記憶 時制 Unit 2 笑い話 助動詞① Unit 3 食品産業 助動詞② Unit 4 自転車 受動態 Unit 5 笑い話 不定詞① Unit 6 デザイン 不定詞②動名詞①	Unit 7 異文化 動名詞② Unit 8 生物 分詞(分詞構文) Unit 9 笑い話 関係詞① Unit 10 宇宙 関係詞① Unit 11 社会貢献 仮定法 Unit 12 親子愛 比較①	Unit 13 気象 比較② Unit 14 論文 接続詞 Unit 15 医療 後置修飾 1年間の総復習
授業時数	24	28	18

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び 技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。また、それらの知識を問う中堅程度の大学入試問題において、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの4技能を問う設問に正しく答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、正確に詳細に読みとり設問に正しく答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、おおむね正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している部分もある。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、部分的に正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	定期考査 Unitごとの単元テスト、Reading Test、Activity
思考力、判断 力、表現力等	中堅程度の大学入試問題を意識した総合問題において、グラフ・表の読み取り、段落ごとの内容の把握、出来事の時系列整理、段落同士の関係の理解などを通して英文の要点を把握し、各設問に正しく答える力を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、正確に詳細に読みとり設問に正しく答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、おおむね正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している部分もある。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、部分的に正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	定期考査 Unitごとの単元テスト、Reading Test、Activity
主体的に学 習に取り組 む態度	様々なジャンルや話題に関する背景知識を増やしつつ英文に対する理解を深め、積極的、主体的、意欲的に読解力を身につけようとしている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、正確に詳細に読みとり設問に正しく答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、おおむね正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している部分もある。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、部分的に正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	定期考査 Unitごとの単元テスト、Reading Test、Activity

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの上位大学入試レベルの英文を読み解くために必要な語彙や文法事項の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 総合問題において、グラフ・表の読み取り、段落ごとの内容の把握、出来事の時系列整理、段落同士の関係等を的確に理解し、設問に適切に答える力を養う。 【学びに向かう力】 外国語の背景にある文化を理解し、聞き手や読み手に配慮しながら、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	教科書	特になし
教科	英語科	科目名	発展英語			副教材	Treasure Hunt 3rd Edition 5(いいずな書店)
単位数	2単位	区分	自由選択				スクランブル 英文法・語法 5th Edition
年次	3年次	形態	自由選択				スクランブル 英文法・語法 トレーニング問題集

授業 内容	1 学期	2 学期	3 学期
	Unit 1 虚報 準動詞の確認① Unit 2 連 準動詞の確認② Unit 3 生物 名詞構文 Unit 4 善意 話法 Unit 5 経済 時制の一致 Unit 6 食文化 比較	Unit 7 言語 関係詞① Unit 8 価値観 疑問・否定 Unit 9 経済 不定詞・動名詞 Unit 10 技術 さまざまな完了形 Unit 11 生物 仮定法 Unit 12 環境・復興 関係詞②	Unit 13 妙案 強調 Unit 14 風習 名詞・冠詞・代名詞 Unit 15 生物 前置詞
授業時数	24	28	18

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び 技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。また、それらの知識を問う中堅程度の大学入試問題において、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの4技能を問う設問に正しく答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、正確に詳細に読みとり設問に正しく答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、おおむね正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している部分もある。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、部分的に正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	定期考査 Unitごとの単元テスト、Reading Test、Activity
思考力、判断 力、表現力等	中堅程度の大学入試問題を意識した総合問題において、グラフ・表の読み取り、段落ごとの内容の把握、出来事の時系列整理、段落同士の関係の理解などを通して英文の要点を把握し、各設問に正しく答える力を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、正確に詳細に読みとり設問に正しく答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、おおむね正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している部分もある。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、部分的に正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	定期考査 Unitごとの単元テスト、Reading Test、Activity
主体的に学 習に取り組 む態度	様々なジャンルや話題に関する背景知識を増やしつつ英文に対する理解を深め、積極的、主体的、意欲的に読解力を身につけようとしている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、正確に詳細に読みとり設問に正しく答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、おおむね正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	【知識】外国語の文法の形・意味・用法を理解している部分もある。 【技能】文法の理解をもとに、日常的な話題や社会的な話題等の様々なジャンルの英文を、部分的に正しく読みとり設問に答える技能を身につけている。	定期考査 Unitごとの単元テスト、Reading Test、Activity

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 保育の意義や子ども発達、生活の基本を学び、保育に必要な基礎的知識・技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを取り巻く身近な課題に気づき、どう関わればよいかを自分で考えて判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもへの関心を持ち、実習などを通して周りとは協力しながら進んで学ぼうとする。	教科書	保育基礎 ようこそともに育ちあう保育の世界へ
教科	家庭	科目名	保育基礎			副教材	家庭科55デジタル+
単位数	2単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業内容	1 学期	2 学期	3 学期
		<p>どもの育ちや生活の基本を知り、温かく見守る大切さを学ぶ</p> <p>1章 子どもの保育</p> <p>①保育の意義 ②保育の環境 ③保育の方法</p> <p>2章 子どもの発達</p> <p>①子どもの発達の特性 ②乳幼児の発育と発達</p> <p>3章 子どもの生活</p> <p>①子どもの健康と生活 ②子どもの食事 定期考査</p>	<p>子どもの安全や福祉、遊びを学び、実習を通して実際の関わり方を体験する。</p> <p>③子どもの衣服と寝具 ④子どもの健康と安全</p> <p>4章 子どもの福祉</p> <p>①保育にみる児童観 ②児童福祉の理念と法規・制度</p> <p>5章 子どもの文化</p> <p>①子どもの文化の意義 ②子どもの文化を支える場 ③子どもと遊び</p> <p>保育実習</p>
授業時数	23	31	16

主体的に学習に取り組む態度	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身につけている。子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	授業で得た知識や技術を十分理解しており、適切に表現したり活用する技能を十分に身につけている。	授業で得た知識や技術をほぼ理解しており、適切に表現したり活用する技能をほぼ身につけている。	授業で得た知識や技術の理解が不十分で、適切に表現したり活用したりする技能を十分に身につけられていない。	定期考査 提出物 作品制作
思考力、判断力、表現力等	子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身につけている。	授業や課題を通して学んだことを思考し、正しく判断し、適切に表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断し、表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断をする力が不十分で、表現することに努力を要する。	定期考査 提出物 実習レポート
主体的に学習に取り組む態度	子どもの発達や保育にかかわる職業について関心を持ち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする意欲的な態度を身につけている。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が十分にある。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度がある。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度が弱く、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が不十分である。	提出物 レポート

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 栄養や調理、食材の基本を学び、料理に関する基礎的な知識と技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 毎日の食事や身近な食の課題について、どうすればより良くなるかを自分で考えて判断し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 食への関心を持ち、調理実習などを通して進んで食生活を工夫しようとする。	教科書	フードデザイン
教科	家庭	科目名	フードデザイン			副教材	家庭科55デジタル+
単位数	2単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	自由選択				

授業内容	1学期	2学期	3学期
	食事の大切さや栄養の基本を学び、自分の体によい食べ方を考える 第1章 健康と食生活 ①食事の意義と役割 ②食を取り巻く現状 第2章 栄養と食品 ①栄養素と消化・吸収 ②各栄養素のはたらき ③食品とその特徴 ④何をどれだけ食べる 調理実習 定期考査	全食材の選び方や調理の基本を学び、美味しく食べる工夫をする 第3章 食品の選択と取り扱い ①食品選択のコツ ②食品の安全と衛生 ③食の安全を考えて選ぶ 第5章 各国料理とコーディネート ①料理の様式 ②テーブルコーディネート 調理実習 定期考査	(地域の食文化や環境への理解を深め、これからの食生活に生かす力を身に付ける) 第6章 食育と食育推進活動 ①食育推進の取り組み ②食文化を見つめる ③食と環境について考えよう まとめ 調理実習 レポート
授業時数	23	31	16

主体的に学習に取り組む態度	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	授業で得た知識や技術を十分理解しており、適切に表現したり活用する技能を十分に身に付けている。	授業で得た知識や技術をほぼ理解しており、適切に表現したり活用する技能をほぼ身に付けている。	授業で得た知識や技術の理解が不十分で、適切に表現したり活用したりする技能を十分に身に付けられていない。	定期考査 提出物 実習記録 レポート
思考力、判断力、表現力等	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見直し思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	授業や課題を通して学んだことを思考し、正しく判断し、適切に表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断し、表現することができる。	授業や課題を通して学んだことを思考判断をする力が不十分で、表現することに努力を要する。	定期考査 提出物 実習記録 レポート
主体的に学習に取り組む態度	食生活に関する諸問題に関心をもち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が十分にある。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度があり、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度がある。	主体的・意欲的に学んだことを活用しようとする態度が弱く、問題解決の過程を振り返り考察深めようとする態度が不十分である。	提出物 実習記録 レポート

令和8年度 年間授業計画				科目の 目標	【知識及び理解】 情報の表現や管理の方法について理解するとともに、データの収集・整理・分析の基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や課題に応じて適切にデータを収集・整理・分析し、その結果を根拠に基づいて解釈するとともに、分かりやすく表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の活用が社会や生活に与える影響を考え、主体的にデータを活用して課題の解決に取り組もうとしている。	教科書	実教出版 情報の表現と管理
教科	情報	科目名	情報の表現と管理			副教材	日本文教出版 IT・Literacy 情報デザイン編
単位数	2	区分	自由選択				
年次	3	形態	自由選択				

授業 内容	1 学期	2 学期	3 学期
	【目標】 (ア) 根拠に基づいてデータを整理する力を身につけさせる。 (イ) 根拠に基づいて、わかりやすく情報を表現する力を身につけさせる。 1 メディアの特性と情報の表現 ① 情報の解釈とモデル化 (ア) ② データの解釈と視覚化 (ア) ③ 情報デザイン<探究> (イ) ④ プレゼンテーションと情報の表現 (イ)	※ 10月まで . . . 1 学期の指導を継続 (10月中旬より) 【目標】 (ア) 情報を管理する仕組みを構築できるようにする。 (イ) 情報システムとデザインとの関連性を考察させる。 (ウ) U I を意識した情報システムについて考察させる。 2 メディアの特性と情報の管理 ① POSシステムの構築 (ア) ② Webデザインと情報の表現 (イ) ③ U I を意識したPOSシステムのデザイン (ウ) ④ アプリデザイン<探究> (ア) (イ) (ウ)	※ 3月まで . . . 2 学期の指導を継続
授業時数	20	35	15

観点別評価	観点	A	B	C	評価方法
知識及び技能	情報の表現と管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	情報の表現と管理に関連された基礎的な技術を十分に身に付け、その技術を生かし、より高度な技術を習得した。	情報の表現と管理に関連された基礎的な技術を十分に身に付けている。	情報の表現と管理に関連された基礎的な技術を習得身に付けている。	提出物等
思考力、判断力、表現力等	情報の表現と管理に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	学習活動において課題解決を図る手順を理解し、解決する力を十分身につけており、その手順を日常における問題解決に応用することができる。	学習活動において課題解決を図る手順を理解し、解決する力を身につけており、授業における他の課題解決に生かすことができる。	学習活動において課題解決を図る手順を理解しているが、他の課題に生かす点では不十分である。	提出物等
主体的に学習に取り組む態度	適切な情報の表現と管理を目指して自ら学び、情報産業の維持と発展に必要な情報の表現と管理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	学習活動を通じて、情報の表現と管理に関する技術の習得に非常に主体的に取り組むとともに、課題解決の手順について、協働的に検討し、解決している。	学習活動を通じて、情報の表現と管理に関する技術の習得に主体的に取り組んだ。	情報の表現と管理に関する技術の習得に向けた姿勢が不十分であり、情報社会に参画する態度を身につけるため更なる研さんが必要である。	提出物等